

JPPMA

Japan Pet Products Manufacturers Association

Briefs

目次

JPPMA トピックス…1頁～4頁

上半期を振り返って…1頁～2頁

1/23会員懇談会開催…2頁

2013JPF準備報告…2頁

3/29ペット用品取扱士検定試験実施…3頁

ペット用品品質基準について説明会開催…3～4頁

観賞魚用ヒーター誤使用防止啓蒙・啓発ポスター完成…4頁

ペットとの共生推進協議会シンポジウム開催…4頁

事業報告

—第3期 6/1 から上半期を振り返って—

会長 柳原伸明

— ペットは、不可欠とも云えるくらいに人の日常生活に溶け込んでいて、人とペットとの共生に対して国民の意識は高まり、ペット産業の意義も見直され高く評価されるようになっていきます。同時に社会的責任も大変大きなものとなっています。

ところが、バブル経済崩壊後「失われた20年」と云われるように日本経済の活力は萎み、世界的な不況、円高、震災等々の影響が加わって、ペット業界を取り囲む環境は非常に厳しい状況です。「成熟期」に入っていると云われるペット業界ではありますが、時代の変化に対してペット産業のあり方が問われているようにも思われます。

一般社団法人日本ペット用品工業会では「より良いものを」「より快適に」「より安全に」を基本テーマとして、社会に貢献すべく各種の公益および共益活動に取り組んでいますが、第3期の主な事業および活動は、具体的には以下の7点が柱でした。—

① 2013 ジャパンペットフェア (3/28～3/31 インテックス大阪) は、同実行委員会が中心となってイベントの企画から実施まで準備を進めてきた。

ジャパンペットフェア開催によってペット飼育者がさらに増加し、人とペットとの共生が促進されることへの一助になることを目指します。同時に、ジャパンペットフ

ェアが業界と一般へのPRの場として、数多くの生体とペット用品・フードを一堂に集めて、またペット飼育の魅力の演出の場所として活かしていく。

② ペット用品統一表示ガイドライン「統一表示編 Ver.2」が完成で統一表示の基礎作業は終了。次段階として安全基準、品質基準について、策定が特に急がれるカテゴリーを検討した。安全基準の策定について11月、東京会場、大阪会場において説明会を開催した。(3頁詳細)

③ ペット用品取扱士検定3級試験を2013年ジャパンペットフェア会場で3月29日に実施を決定。また1～2級用の教本制作の準備を進めている。

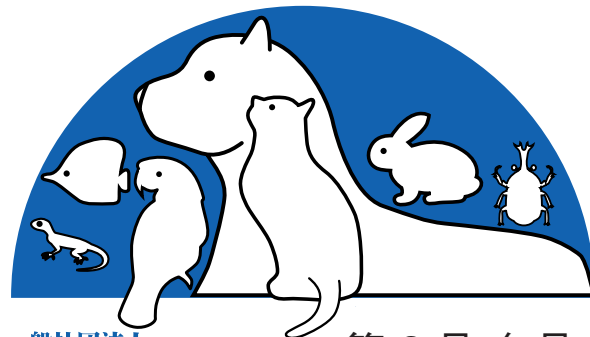
ペット用品取扱士検定制度は、業界内外においてペット用品やペットフードの正しい知識・使い方の啓蒙・啓発事業である。過去5回の試験によって、延べ合格者は約300名を認定した。

④ 2010年11月に発足したペットとの共生推進協議会に会長団体として参画し、会員増強、告知等の活動を行ってきた。12月8日東京・東商ホールにおいてシンポジウムの開催、参加者は458名だった。(4頁詳細)

⑤ 経営研究と人材育成事業の一環として海外研修を9月、アメリカペット業界研修視察を実施した。研修部会が担当した。

⑥ 2011年度ペット産業実態調査を終了、集計結果を2013 ジャパンペットフェア会場で発表、その後ホーム

<http://www.jppma.or.jp>



一般社団法人
日本ペット用品工業会会報 第6号 冬号

ページ上で公開予定。

⑦ ほか

— 今年度は余すところ5ヶ月となっていますが、事業計画の100%達成を目指していきます。—

1/23 東京で JPPMA 会員懇談会開催

平成25年1月23日午後2時から午後5時、東京八重洲ホール901会議室において、一般社団法人日本ペット用品工業会(JPPMA)会員懇談会を開催する。

テーマは、以下の通り。

①一般社団法人ペットフード協会とのジャパンペットフェア共同開催についての検討。

一般社団法人ペットフード協会から申し入れのあった「共催」の案件を、会員対象に行ったアンケート結果を踏まえながら、その目的と意義、手法に焦点を絞って話し合う。

②ペット用品の基準策定について。JIS規格、法制化を含めて検討。

ペット用品統一表示事業(一部性能基準、強度基準を含む)は昨年、基礎作業がほぼ終了した。現在はカテゴリー毎に「安全基準」「品質基準」の制定を検討する作業に入っているが、行政から製品によってはJIS規格の導入を急ぐように指導されているケースも出ていることもあり、安全性を担保するための法規制の可能性を合わせて話し合う。

③企業の発展とペット産業の振興にJPPMAはどのように取組むべきかを検討。一般社団法人日本ペット用品工業会の根幹に関わる会の理念、目的、役割について意見交換を行う。

④その他。2013JPFのテーマと役割とペット経済効果について等々。

2013ジャパンペットフェア 3/28-31 インテックス大阪 ペット飼育者の掘り起こしと育成と…

「見つけよう!ペットと暮らす喜びを」をテーマに2013ジャパンペットフェアを3月28日~31の4日間インテックス大阪において開催する。国内外のペット用品と関連製品並びに新製品、新技術の紹介・発表を行うと共に、イベント及び業界及び各企業のPRを通じて、人々とペットのより良い関係づくりに役立つことを目的としている。2013ジャパンペットフェア実行委員会(石橋伸孝実行委員長)が企画から実施までを担当。同実行委

員会は毎月1回開催されている。

2003年大阪での開催後、2005年から関東圏に重点を置き開催されてきたが、業界全体の「振興」と「活性」、「発展」を目的として10年振りに大阪で開催し「西日本の小売店から新たな飼育者の掘り起こし」を意識した。これが契機にペットマーケットの活力が戻ればと期待しているという。

商談日のイベントテーマとコンセプトについて 小売店、流通支援、育成

優秀な本当のペットショップに付いて考え、実現に向けての支援策の提案を予定している。アンケート調査で小売店が最も注目しているという、機能性、デザイン性、ファッション性を競う新製品コンテストの開催や、ペット業界の第一線で活躍されているスペシャリストによる「ワークショップ」、ペットとの暮らしの楽しさを伝える著名人や動物愛護活動に貢献した人を表彰する「ジャパンペットアワード」実施する。その他飼育者掘り起こしに繋がる企画を検討をしている。

「初心者育成」「潜在飼育者の掘り起こし」

ペット経済が厳しい状態のなかでは、より具体的なメッセージが必要である。そこで、ジャパンペットフェア本来の役割を見直し、入場者が増えることと、かつ飼育者を増やすという確実に次につながる施策を実施する。

生体イベントは、ジャパンペットフェア実行委員会が業種別に担当して、準備を進めている。(敬称略)

●犬・猫	山本 笹木
●観賞魚	藤座 秋山 鈴木
●小鳥・小動物	黒瀬 (石橋)
●昆虫	三谷

なお、出展社説明会は1月18日大阪・阪急ターミナルホテルで、記者発表会は2月6日大阪市中央公会堂で開催される。



実行委員会会議風景。爬虫類イベントを担当する平澤氏より内容説明を受ける。

ペット用品取扱士検定試験 受験者募集

3/29 インテックス大阪
ジャパンペットフェア会場で実施

ペット用品取扱士受験要項

■受験資格
年齢、性別、国籍を問いません。受験を希望される方は指定の受験申込書(無料)をお取寄せください。

■対象
①一般社団法人日本ペット用品工業会会員
②同会員会社従業員・家族
③非会員
・メーカー：マーケティング、商品管理、企画開発、営業担当者他
・流通：仕入、商品管理、企画、営業担当者他
・小売店：マネージャー、バイヤー、売場担当者他
・学生：大学生、ペット関連専門学校他
・その他一般

■受験受験料(受講料、教材費、認定料を含む)
・会員、社員及び家族 1名 18,000円
・学生(大学、専門学校) 1名 20,000円
・非会員、一般 1名 23,000円
・団体料金 1企業5名以上受験の場合10%割引

■申込み
受験受験書に必要事項を記入し、郵送またはFAXにてお送りください。お申込み後、受験料の振込金をもって受験受付とさせていただきます。お申し込みがなければ、請求書をお送りします。

※入会費、年会費、試験料、教材費をお送りいたします。

■試験料 18,900円 市販品に限定して実施。

■試験日程
●大阪会場 定員130名
平成25年3月29日(金)午後1時～午後4時
インテックス大阪 F会議室
大阪市住之江区南港北1-5-102
05-6612-8800

※会場は都合により変更する場合があります。

ペット用品取扱士へのステップ

申込から受験、審査、資格認定まで

資料請求(無料)

・ペット用品取扱士関連資料
・受験申込書

募集/申込

申込手続きに際する必要事項

・受験受験申込書(指定様式)提出
郵送 103-0042 千代田区美田下40-40
ヤマガタビル3階 日本ペット用品工業会宛
FAXの番号 03-5298-7724

・受験受験料納入 三井住友銀行 神田駅前支店
口座名 一般社団法人日本ペット用品工業会
(イー・ネット) 日本ペット用品工業会(イー・ネット)
普通口座 1724483

・申込受付
受験受験申込受付 受験料振込確認

・テスト配付 受験料交付

・自宅学習

・検定試験実施

(前夜・合宿) 一泊二日研修 一泊二日研修

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

・資格取得 受験料納入後 認定証交付

JPPMA認定 知識・技能審査

ペット用品取扱士

資格検定試験のご案内

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

2013ジャパンペットフェア会場で実施します。

●大阪会場 平成25年3月29日(金)

インテックス大阪 F会議室

(大阪市住之江区南港北1-5-102)



表示委員会石川委員長代行による挨拶と経過説明。



一般財団法人カケンセンター、一般財団法人に本文化用品安全試験所の講師によるペット用品試験項目の試験方法及び必要性等の説明が行われた。

第6回ペット用品取扱士資格試験がインテックス大阪において2013年3月29日午後1時～午後4時実施する。

■受講受験資格

年齢、性別、国籍を問わない。受験希望は指定の受験受験申込書(無料)が必要。→申込は事務局まで。

■対象

①一般社団法人日本ペット用品工業会会員

②同会員会社従業員・家族

③非会員

・メーカー：マーケティング、商品管理、企画開発、営業担当者他

・流通：仕入、商品管理、企画、営業担当者他

・小売店：マネージャー、バイヤー、売場担当者他

・学生：大学生、ペット関連専門学校他

・その他一般

■受講受験料(受講料、教材費、認定料を含む)

・会員、社員及び家族 1名 18,000円

・学生(大学、専門学校) 1名 20,000円

・非会員、一般 1名 23,000円

・団体料金 1企業5名以上受験の場合10%割引

■申込み締切日 平成24年8月10日(必着)

■申込先/問合せ先

一般社団法人日本ペット用品工業会事務局

電話 03-5298-7722 FAX03-5298-7724

メール pets@jppma.or.jp

11/21-22 ペット用品品質基準 についての説明会開催

表示委員会において、犬猫関連の一部ペット用品について策定を進めていた「ペット用品品質基準」がまとまり、11月21日、22日東京(東京八重洲ホール 19名参加)、大阪(一般社団法人カケンセンター会議場 29

名参加)で一般財団法人カケンセンター、一般財団法人日本文化用品安全試験所の担当者を講師に招いて説明会を開催した。

今回の品質基準は一般社団法人日本ペット用品工業会の自主基準及び業界基準として「推奨」するもので、今後必要に応じて改定を行っていくというもの。

同委員会委員長代理・石川氏(株)ヤマヒサの話「最近購入者が各種雑誌やインターネットなどから情報を得ることができ商品の基礎となる品質基準を明確に持っていなければなりません。最もお客様の望むところは“安心”“安全”であり、メーカーとしても信頼を裏切らない商品作りが最重要であることはいうまでもありません。そのためにも、品質に対する基準が必要とされてきたと考え、この度の日本ペット用品品質基準の策定作業を始めました。

商品の材質に応じた検査をしなくてはならないことは、費用もかかっていますが、取引先様からの問い合わせも増えるなかでペット用品工業会会員として、今回の基準を活用していただき“安心”“安全”な商品作りをお願いいたします。

また、このたび策定しました品質基準については、犬・猫だけに限らず、7業種すべてに共通するものであります。例えば、食器であれば、鳥・小動物にも関連することです。今後は、各業種にて品質基準の策定に入り、

工業会品質基準の精度を高めてまいります。」

説明会参加者にはペット用品品質基準、品質試験費用一覧表、品質基準試験依頼書等の資料が配付された。

観賞魚用ヒーター誤使用防止へ
啓蒙・啓発ポスターを作成、配布へ

観賞魚ヒーターについての重要なお知らせ

**観賞魚用ヒーターの
取扱いには十分注意して下さい。
こんな状態(使用)は危険です!**

水面近くにセットすると水位が下がった時に危険!
水の蒸発にも注意、水を足してください。

ヒーターの飛び出しに注意
ヒーターを電源から抜く場合は必ず電源を抜いて、充分冷まして(5～15分程度)から取り出してください。

フィルター等、ろ過装置内でヒーターの使用は危険
上部・外掛け式フィルターなど、ろ過装置内でヒーターは使用しないでください。

水槽用品以外のケースでヒーターの使用は危険
バケツ・取替ケース・発熱スチロールケースなど、水槽用品以外で、ヒーターは使用しないでください。

ちょっと待って!コンセントは抜きましたか?
**ヒーターの誤作動防止のため
水槽の設置や、水換えの時など作業中は
必ずコンセントを抜いてから...**

※観賞魚用ヒーターは水中で長期使用しますので、製品の劣化が進み事故、故障の原因となります。
(1年くらいを目安に交換してください。)

JPPMA 一般社団法人日本ペット用品工業会 後援：経済産業省、日本観賞魚振興事業協同組合

また、表示委員会が進めていた観賞魚ヒーター誤使用防止啓蒙・啓発ポスターが完成、会員、関係者に配布される。この啓蒙・啓発事業には経済産業省、日本観賞魚振興事業協同組合が後援している。

医師・獣医・トレーナーの専門家が集結
「ペットとの共生を考えるシンポジウム」開催



一般社団法人日本ペット用品工業会が会長団体を務めるペットとの共生推進協議会(林明雄会長)は、12月8日(土)、東京商工会議所(東商ビル)4F 東商ホールにて、第1回「ペットとの共生推進協議会シンポジウム」を開催した。

ストレスの多い日本の現代社会において、ペット飼育は、心が癒され、健康を維持・増進する等、社会生活の安定に大きく寄与するものとして注目されるとともに、そのニーズは年々増加している。普段何気なくペット飼育者にも、正しい飼養方法や、ペットの社会的役割、同行避難など、人とペットとが共生するより良い社会の実現に向けて考えることを目的に、環境省の後援、関係団体の協賛を得て開催致したもので、458名が来場した。

林会長の挨拶、環境省動物愛護管理室・田邊室長、越村実行委員長(一般社団法人ペットフード協会会長)の挨拶の後、6名の講師によるシンポジウムの幕が開けられた。プログラムは以下抄録の通りである。

永村副会長(社団法人ジャパンケネルクラブ理事長)の閉会のごあいさつで、約7時間にわたって行われた第1回目のシンポジウムは終了した。

本日のプログラム		講師紹介
10:00 開会のあいさつ		山崎 寛子 氏 環境省動物愛護管理室長(2012年12月8日現在、山崎氏は環境省動物愛護管理室長として、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。)
10:10～10:55 山崎 寛子 氏「高齢者のペット飼育を支援するシステム」	3	山崎 寛子 氏 環境省動物愛護管理室長(2012年12月8日現在、山崎氏は環境省動物愛護管理室長として、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。)
11:00～11:45 太田 光明 氏「ペットとのより良い共生のために：人と動物を繋ぐオキシトシン」	5	太田 光明 氏 環境省動物愛護管理室長(2012年12月8日現在、太田氏は環境省動物愛護管理室長として、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。)
11:50～12:35 高瀬 友子 氏「介助犬の社会的役割について」	13	高瀬 友子 氏 環境省動物愛護管理室長(2012年12月8日現在、高瀬氏は環境省動物愛護管理室長として、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。)
昼休憩		
13:35～14:20 佐々木 伸雄 氏「高齢者のペット飼育を支援するシステム」	18	佐々木 伸雄 氏 環境省動物愛護管理室長(2012年12月8日現在、佐々木氏は環境省動物愛護管理室長として、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。)
14:25～15:10 野村 月美 氏「ペットの飼育を考える」	25	野村 月美 氏 環境省動物愛護管理室長(2012年12月8日現在、野村氏は環境省動物愛護管理室長として、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。)
小休憩		
15:30～16:15 山口 千津子 氏「同行避難：東日本大震災から学ぶこと」	35	山口 千津子 氏 環境省動物愛護管理室長(2012年12月8日現在、山口氏は環境省動物愛護管理室長として、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。)
16:20～17:05 水嶋 美奈 氏「ペットの事故は飼い主次第～同行避難もまずはしつから～」	51	水嶋 美奈 氏 環境省動物愛護管理室長(2012年12月8日現在、水嶋氏は環境省動物愛護管理室長として、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。また、ペットの飼育に関する政策の推進に努めている。)
17:05 閉会のあいさつ		

発行物	一般社団法人 日本ペット用品工業会会報 JPPMA Breifs 第6号
発行日	平成24年12月20日
発行人	一般社団法人 日本ペット用品工業会 〒101-0042 東京都千代田区神田東松山下町48 電話 03-5298-7722 FAX03-5298-7724
編集人	組織強化部会広報誌制作委員会
委員長	高野 怜
委員	滋野 実(アドバイザー) 事務局



発行物 会報／JPPMA Breifs
第5号夏号
発行日 平成24年6月30日
発行人 一般社団法人日本ベ
ット用品工業会
千代田区神田東松下
町48
電話 03-5298-7722
編集人 組織強化部会
部会長 高野 怜

